

AIR PUMP

《アタッチメント付き・自転車用空気入れ》

この度は、本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。また説明書をお読みになった後も、大切に保管してください。

△ ご使用上の注意事項

※お取り扱いを誤ると、負傷または物的損害が発生する可能性があります。

❗ ご使用前に必ずご確認ください。

本製品を使用する際は、事前に自転車本体の取扱説明書をご確認ください。本製品をご使用中に自転車に不具合が生じた場合、当社では一切責任をとることができませんのでご了承ください。

- 本製品は、自転車(英式・米式・仏式バルブチューブ用)及びレジャー用品(浮き輪やボール類)の手押しポンプです。他の目的には使用しないでください。
- タイヤの空気圧は「標準空気圧」または「推奨空気圧」に従ってください。ボールはその製品に付属の取扱説明に従ってください。
- 本製品は、自転車専用チューブに使用する場合、最大9気圧(965kpa)まで充填可能です。
- 子供など取扱いに不慣れな方だけで使わせたり乳幼児の手の届くところで使用しないでください。
- ご使用前に口金やアタッチメントにゆれみがないか確認してください。ゆれみがある場合はしっかりとしめてください。
- 空気を入れる時は、必ず平らな場所で入れてください。
- ポンプを傾けて使用すると転倒してケガの原因となります。
- ハンドルは、両手でしっかりと握り最後まで押し、ポンプ内の空気を出しきってください。空気圧によりハンドルが飛び出しケガをする恐れがあります。

- 空気が入らなくなった場合は、無理に加圧しないでください。
- 本製品の分解や改造はしないでください。ポンプが破損してケガをする恐れがあります。
- 空気を充填する製品によっては、付属のアタッチメントが使用できない場合がありますのでご了承ください。
- 口金やアタッチメントを取り外す際は丁寧に扱ってください。乱暴に扱うとバルブが損傷したり空気漏れの原因となります。
- ボール用アタッチメントは針状で折れやすく危険です。ボールへの抜き差しはゆっくりと慎重におこなってください。
- 付属のアタッチメントは、紛失しないようにポンプ本体と一緒に保管してください。
- ゴムや樹脂部品は経年劣化により変形、変色、損傷が生じる場合があります。変形、変色、損傷が生じた場合は使用しないでください。
- ホースを折り曲げたまま保管しないでください。折れた部分が劣化して、空気漏れの原因となります。
- 保管の際は、ストーブ等の熱源や有機溶剤、油類の近辺、または雨や直射日光の当たる場所には置かないで、屋内の冷暗所で保管してください。
- 廃棄の際は、各地方自治体の廃棄区分に従ってください。

〈セット内容／各部名称〉

米式口金
(アタッチメント差し込み穴)

英式・仏式口金

ロックレバー

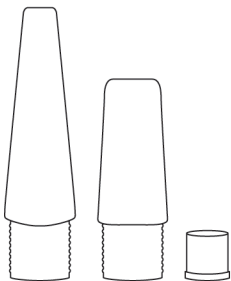
ハンドル

口金

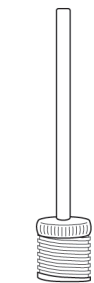
ホース

ポンプ本体
(シリンダー)

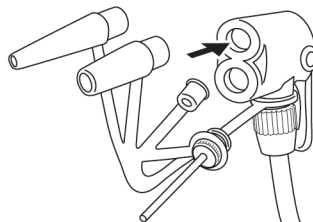
付属アタッチメント



浮き輪用アタッチメント



ボール用
アタッチメント

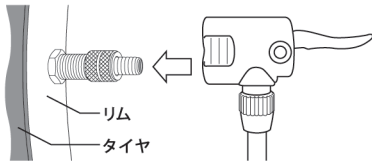


※使用するアタッチメントを米式口金にセットする

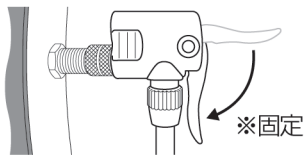
フットステップ

〈自転車タイヤチューブのバルブ別の使用方法〉

英式バルブの場合



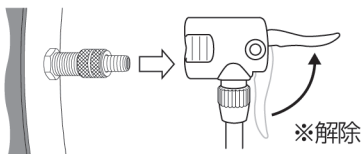
①ロックレバーを起こした状態でバルブに英式口金(下側の穴)を差し込む。



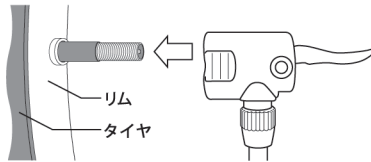
②ロックレバーを倒して、口金を固定する。

③適正な空気圧になるまで、繰り返しポンピングする。

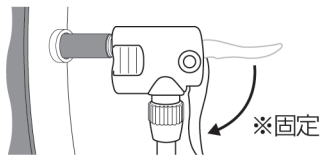
④ロックレバーを起こして、バルブから口金を抜く。



米式バルブの場合



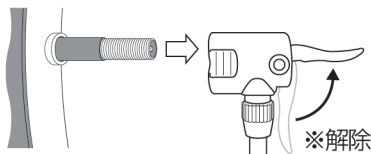
①ロックレバーを起こした状態でバルブに米式口金(上側の穴)を差し込む。



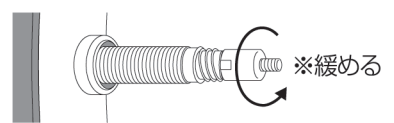
②ロックレバーを倒して、口金を固定する。

③適正な空気圧になるまで、繰り返しポンピングする。

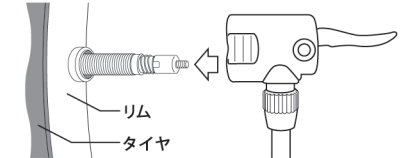
④ロックレバーを起こして、バルブから口金を抜く。



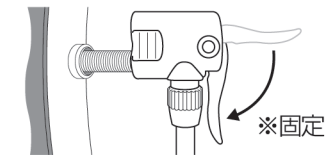
仏式バルブの場合



①仏式バルブに使用する際は、予めバルブ先端のネジを緩める。



②ロックレバーを起こした状態でバルブに仏式口金(下側の穴)を差し込み、ロックレバーを倒して、口金を固定する。

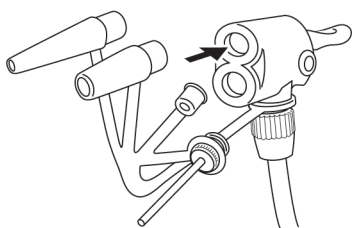


③適正な空気圧になるまで、繰り返しポンピングする。

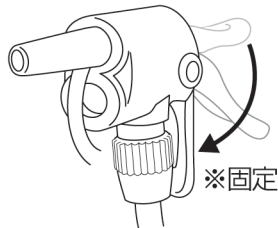
④ロックレバーを起こして、バルブから口金を抜き、先端のネジを締める。

⚠️ご注意 充填後にバルブから口金を抜く時、斜めに倒したり無理に引き抜くと、バルブや口金を破損する恐れがありますのでご注意ください。

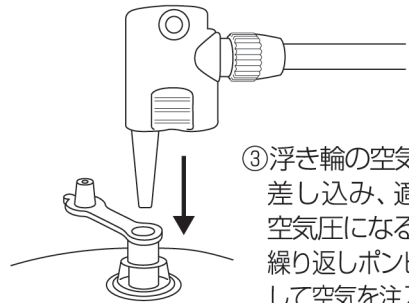
浮き輪に注入する



①浮き輪用アタッチメントを米式口金にセットする。

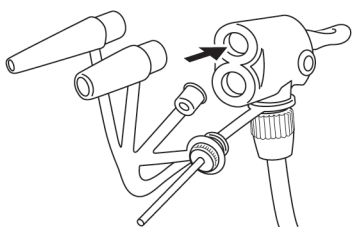


②ロックレバーを倒して口金を固定する。

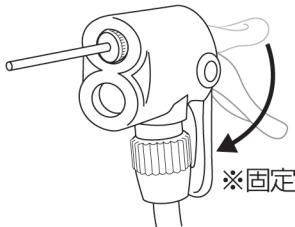


③浮き輪の空気栓に差し込み、適正な空気圧になるまで、繰り返しポンピングして空気を注入する。

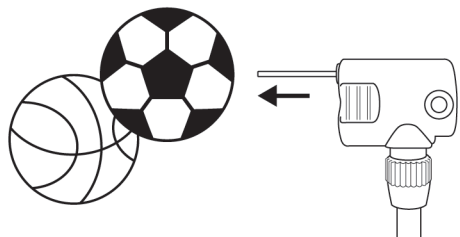
ボールに注入する



①ボール用アタッチメントを米式口金にセットする。



②ロックレバーを倒して口金を固定する。



③ボールの空気栓に差し込み、適正な空気圧になるまで、繰り返しポンピングして空気を注入する。